

頑張る卒業生

Vol.10 植村 真帆さん

2013年3月 社会音楽・音楽療法コース卒業

植村さんは武庫川女子大学音楽学部社会音楽・音楽療法コースを卒業後、神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域 脳機能・精神障害学分野博士前期課程修了。現在は、神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域 健康情報科学分野博士後期課程に在学しながら武庫川女子大学音楽学部教務助手として勤務しています。また、回復期リハビリテーションを専門とする病院のリハビリテーション部の音楽療法士、重度身体障害者施設の音楽療法士としても活躍されています。

今回植村さんが参加した音楽医療研究会学術集会は、医療における音楽の役割を確立し、各種疾患に伴って支障を来した心・身体の回復・維持のために音楽を治療的に用いる方法を考える会として発足された学会です。今回の学会では「多分野介入による認知症予防教室における音楽活動の報告」をテーマとし、他領域の専門家と連携して実施している本学のプロジェクトでの音楽活動に焦点を当て、その介入方法と評価の有用性について発表されました。また、「音楽」を基盤としたアプローチを軸に医師、看護師、音楽療法士、その他関連領域の専門家と共に議論しました。



～植村さんからのコメント～

学会に向け、データの整理・分析をしながら他領域との関連性を見ていく中で、音楽活動（療法）が意味する一つのエビデンスを構築していくことの重要性を再認識しました。学会発表の機会をいただけたこと、このプロジェクトに携わられていること、様々な形で支えてくださっている方々、参加してくださっている方々にこの場を借りて感謝申し上げます。

